

【高等学校用】

令和6年度学校評価計画

達成度(評価)  
 A: 十分達成できている  
 B: おおむね達成できている  
 C: やや不十分である  
 D: 不十分である

学校名	佐賀県立佐賀北高等学校通信制
-----	----------------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>各評価項目については概ね達成できた。重点目標に掲げている能力や人間力の向上ができたのではないと思う。また、個別指導や学習会で単位取得、就職、進学にも対応できた。進学についての参加者が増加傾向であるため、対応改善の必要がある。</li> <li>多様な生徒については、各担任の尽力で対応できている、来年度以降も状況は変わらないため、さらに組織的に対応できるような体制を構築する必要がある。</li> <li>入学者が増加傾向であるため、入試業務や科目登録業務に支障が出てきている。入試業務等への対応のため、スクーリング日程等を大きく変更した。科目登録についてもICT等を活用し改善をすすめていく必要がある。</li> </ul>
------------------	--

2 SAGAスクール・ミッション 学校教育目標	県内唯一の公立通信制高校として、生徒一人一人の可能性に応じた学びの場を提供し、各自が身に付けた体験や経験を、将来の自分の在り方・生き方に活用できる生徒を育成する。
----------------------------	---

	アドミッション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	グラデュエーション・ポリシー
3 スクール・ポリシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>「高校卒業資格を得たい」という強い意志を持った生徒を求めます。</li> <li>失敗を恐れず挑戦することや最後まであきらめず努力する意気込みのある生徒を求めます。</li> <li>自由と責任を両立させ、目標に向かって主体的に取り組む意欲のある生徒を求めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎・基本を大切にするとともに、多様な教科を開設する単位制のメリットを生かして、個別最適な学びを実現します。</li> <li>キャリア教育を推進し、生徒それぞれの希望・能力・適性に合った進路実現を支援します。</li> <li>外部講師による講話など、多様な価値観に触れる活動を実施・奨励します。</li> <li>教科指導や部活動、学校行事などを通して、命を大切にすること、寛容性、協調性を養います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学んだことを生かして、豊かな人生を切り拓くとともに、より良い社会の形成者として、調和と協調に基づくウェルビーイング(自己と地域の幸福)の実現に貢献する人材を育成します。</li> <li>持続可能な社会の実現に向け、身につけた知識や経験をもとにした柔軟な対応力と諦めず粘り強く取り組む姿勢を育成します。</li> <li>他者を理解し尊重する気持ちを持ち、自己も他者も生かすことができる豊かな人間関係を築く力を育みます。</li> </ul>

4 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校生活を充実させ、主体的な学びにより学力向上を図り、単位の修得、高校卒業につなげる。</li> <li>生徒の希望進路を把握し、情報を提供しながらより良い進路実現に努める。</li> <li>多様性を認め自分も人も大切にすることや協調性を養い、社会的自立と将来の社会の形成者としての自覚を促す。</li> <li>働き方改革に基づいた業務の効率化</li> </ul>
------------	--

5 重点取組内容・成果指標

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標(数値目標)	具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
				進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	★単位修得率の向上	○前年度の単位修得率82.9%(4年88.9%、3年89.7%、2年82.4%、1年74.1%)の維持・向上。	・スクーリングへの参加を呼びかけ、予習復習の定着を図る ・「学習のしおり」「樟蔭」の有効活用や担任と毎月1回、学習状況を連絡する。 ・レポートを期限内に提出し、「合格できるように指導する。							教務 学習指導
	○進学学習会や就職対策の強化	○進学学習会、就職対策講座の開講と充実	・「樟蔭」やスクーリング連絡、進路説明会等を通して、学習会や就職対策講座の広報活動を行う。							学習指導 進路指導
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○樟蔭やスクーリング連絡、LHR等を利用してモラル意識を高める。	・スクーリングでは、朝の挨拶指導での声掛けや服装についても注視し、高校生としてのモラル意識の向上を推進する。							保健・教育相談 生徒指導
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめアンケートの実施(前期1回、後期1回)	・LHRやSHR、学校行事等にいじめ撲滅について啓発活動を実施する。							生徒指導 保健・教育相談
	◎ふるさと佐賀への思いを醸成するための教育活動	◎「佐賀県に誇りや愛着を感じる・どちらか」と感じる」と回答した生徒70%以上 ★郷土の人材を活用した講演会等、各学年年間1回実施	・例年11月ⅡSIに「講演会」を実施しているので、今年度は生徒に早めに広報し、「佐賀語り」を利用し事前の学習を呼びかけたいと考えている。							教務
●健康・体づくり	○安全に関する資質・能力を育成する	○生徒の交通事故を0(ゼロ)にする	・6月の生徒指導講話で交通安全にも触れ、生徒の意識を高める ・スクーリング連絡や「樟蔭」で健康診断の連絡を行う ・保健体育や家庭科の授業でも健康診断の必要性について説明する							保健・教育相談
	○健康を考えて行動できる能力を育成する	○学校での健康診断の受診率を60%以上にする								
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・スクーリング等の振替の弾力化、定時退勤日、学校閉庁日の設定 ・出退勤システムの有効活用 ・ICTの活用による業務の効率化							管理職
●特別支援教育の充実	○生徒の状況に応じた支援・配慮を実践する	○年に2回、生徒に関する情報交換会を実施する ○特別支援教育に関する研修会を実施する	・4月と10月に共通理解が必要な生徒の情報交換会を実施し、適切な支援ができるようにする ・研修会を実施し、教職員の特別支援教育に関する理解を深める							保健・教育相談

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
				進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○(独自評価項目・任意)	○(学校独自重点取組)	○(学校独自重点取組)								
○(独自評価項目・任意)	○(学校独自重点取組)	○(学校独自重点取組)								
○(独自評価項目・任意)	○(学校独自重点取組・任意)	○(学校独自重点取組・任意)								

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育 ★…唯一無二の誇り高き学校づくり

6 総合評価・次年度への展望	
----------------	--